

平成25年度第1回みえ地域コミュニティ応援ファンド(地域資源活用型)助成金事業 内定先一覧

	所在地	申請主体 (代表者名)	テーマ	助成額 (総事業費)	イメージ
			事業の内容		
1	四日市市	株式会社稲藤	失われた伝統技術の再獲得と三重県産の竹を使った約300年前の「日永うちわ」復活プラン	2,453,000円 (3,864,780円)	
		稲垣 嘉英	失われた伝統技術の再獲得と、三重県産の竹を使った約300年前の「日永うちわ」の復活を目指す事業。		
2	名張市	澤佐酒造合名会社	地元のこだわりの酒米で、香り豊かな純米吟醸酒を醸す、地域資源活用プラン	1,887,000円 (3,099,837円)	
		澤 克亮	地域づくりの一環として作られる酒米を使い、「味」「物語」「スタイル」の3方向から日本酒を研究開発し、全国に発信していく事業。		
3	伊勢市	SUNKI Iseshima Design Office	伊勢木綿を用いた日用アパレル商品の企画、製造、卸売による地域資源活用プラン	2,531,000円 (6,009,970円)	
		中村 純	つかえばつかうほど心地よい風合いの出る昔ながらの木綿「伊勢木綿」を用いたアパレル商品を洋服の生地として企画・製造・卸売し、全国に発信していく事業。		
4	伊勢市	株式会社シラキ	「世界のセレブに最高のドッグアクセを」伊勢志摩パールを活用したブランド化事業	4,000,000円 (6,466,500円)	
		白木 貞一郎	老舗パールメーカーとタイアップし、国内外のセレブ層に愛されるペット向けアクセサリーのブランド化を目指し、販路拡大を図る事業。		
5	四日市市	茶陶苑まさき	四日市万古焼圧力鋳込み成形技術開発による新機能急須の開発、万古焼生産販売の拡大	2,193,000円 (3,737,000円)	
		正木 孝生	初の圧力鋳込みによる急須製造で、画期的な茶の抽出方法を実現する。また急須本体を洗いやすくするなど、急須の清潔さを実現することで、消費者の不満を解消し万古急須の販路拡大に繋げていく事業。		

平成25年度第1回みえ地域コミュニティ応援ファンド(地域資源活用型)助成金事業 内定先一覧

	所在地	申請主体 (代表者名)	テーマ	助成額 (総事業費)	イメージ
			事業の内容		
6	松阪市	株式会社中野	御浜町特産のマイヤーレモンなどの柑橘類をベースにしたお酢及びドリンクなどの開発	3,720,000円 (5,867,400円)	
		中野 善之	御浜町で取れるマイヤーレモンなどの柑橘類を有効活用してお酢、ドリンクなど新製品の開発をする事業。		
7	鳥羽市	株式会社浜与本店	伊勢志摩産水産原料の幅広い利用による製販一体とした付加価値加工食品の開発・販売	4,000,000円 (6,414,040円)	
		濱崎 與吉	伊勢湾産の天然鯛・浦村牡蠣を使用した炊き込みご飯や雑炊、答志島の茎わかめを使用したふりかけや惣菜、しらすを使用した蒸ししらす等の開発を行うことで地元魚介商品の付加価値・ブランド価値を高める事業。		
8	松阪市	有限会社ミスズ	みえ豚の未利用部位を活かしたしぐれ煮と特徴を活かしたローストポーク等の商品化事業	2,000,000円 (3,307,250円)	
		安田 芳史	みえ豚(松阪豚)の未利用部位(チマキ)を利用した時雨煮と、みえ豚の特徴であるうまみ成分の多さとジューシーさを活かしたローストポーク、ハンバーグの商品化事業。		
9	鈴鹿市	株式会社明菱	機能性米の新規開発と製造をする地域資源活用プラン	3,894,000円 (6,612,650円)	
		柴田 克平	「三重県産のお米」を活用して機能性を付与した上で造粒し、介護食品やダイエット食など幅広い分野に向けて商品開発をしていく事業。		
10	三重郡菰野町	有限会社山口陶器	やさしい気持ちのある暮らしがブランドコンセプトの四日市萬古焼コモノコの普及プラン	2,455,000円 (3,891,150円)	
		山口 典宏	器の提供だけでなく、器を通じた“やさしい暮らし”の実現により、料理体験教室やレシピ等を新たに提供する。さらに、新シリーズの試作開発を行い自社ブランド「como noko」の魅力向上を図り、四日市萬古焼全体の活性化を目指す事業。		